

令和6年度

肢体不自由教育部門

小学部

第1学年

⑧学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語		学習グループ名		小④
目標・ねらい	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	313 単位時間				
使用教科書	あたらしいこくご 上・下(東京書籍)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	きこえるよ	2	○言葉に合わせて動作をつけながら言葉の掛け合いを楽しむ。 ◆言葉の響きやリズムを楽しみながら友達と声を出すことができる。		・日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できるようにする。 ・ワークシートを適宜活用し、考えを深めたり、整理したりすることができるようにする。 ・情報機器や学校図書館を積極的に活用する機会を設ける。
	よろしくね	1	○名前を伝える話型を確かめ、複数の友達と自己紹介をし合う。 ◆伝え合うために必要なことを選び自己紹介を楽しむことができる。		
	たのしくかこう	2	○歌に合わせて体を動かし、鉛筆の持ち方や姿勢を確かめる。 ◆姿勢や鉛筆の持ち方を知り、楽しく運筆をすることができる。		
	なんていうのかな	2	○教科書の絵を見て、学校生活で使いたい言葉を考える。 ◆人と関わるときに大切な言葉を知り、使うことができる。		
	こえをとどけよう	1	○場面に応じた声の大きさを理解し、実際に声に出して確認する。 ◆場面に応じた声の大きさがあることを知り、活用することができる。		
	もじをかこう	1	○学習した平仮名8文字を組み合わせてできる言葉を探して書く。 ◆文字や言葉への関心をもつことができる。		
	あいうえおのうた	2	○教科書の写真を参考に、口形が異なることを確かめる。 ◆姿勢や口形、発声や発音に注意して声を出し、音読することができる。		
	あいうえおのうたことばをあつめよう	3	○「あ」「い」「う」「え」「お」のつく言葉を集める。 ◆「あ」「い」「う」「え」「お」のつく言葉を集めることができる。		
5	ほんがたくさん	4	○読み聞かせを聞いたり物語を読んだりして内容や感想を伝え合う。 ◆読書に興味をもって、本に親しむことができる。		
	あめですよ	4	○絵の人物や擬声語を比べ様子を想像しながら動作化して音読する。 ◆語のまとまりや響きに気をつけながら音読を楽しむことができる。		
	ふたとぶた	4	○濁音、半濁音を含む語を集めて読んだり書いたりする。 ◆清音、濁音、半濁音を理解して平仮名を読んだり書いたりできる。		
	みんなにはなそう	4	○紹介したいことを話したり、声に出して確かめたりする。 ◆紹介したい事柄を決め、相手に聞かせるように話すことができる。		
	ぶんをつくらう	5	○「○○が…する。」の文型で文を作る。 ◆助詞の「が」を使った文を作ることができる。		
	とんこととん	5	○お話を読み、内容や感想などを伝え合ったり演じたりする。 ◆場面の様子や人物の行動の内容を捉え音読を楽しむことができる。		
	はをつかおう	2	○「は」と「わ」のどちらを使うのが正しいかを考えて文を作る。 ◆助詞の「は」を正しく使って文を作ることができる。		
	さとうとしお	6	○説明的な文章を楽しんで読み、分かったことを伝え合う。 ◆事柄の順序を考えながら、分かったことを伝え合うことができる。		
6	をへをつかおう	4	○「を」と「お」、「へ」と「え」のどちらが正しいかを考えて文を作る。 ◆助詞「を」「へ」の使い方を理解して明確に文を書くことができる。		
	きいてつたえよう	4	○友達が見つけた言葉を聞いて、グループに正しく伝える。 ◆話し手が知らせたいことを聞き、正しく伝えることができる。		
	ねことねっこ	3	○視覚化や動作化を使って促音の音節と文字との対応を理解する。 ◆促音と音節を理解し、読んだり書いたりすることができる。		
	ことばあそび	3	○しりとりやことばみつけをしながら平仮名の読み書きに習熟する。 ◆言葉遊びに親しみ、平仮名を読んだり書いたりすることができる。		
	あひるのあくび	4	○いろいろな音読を楽しみ、詩の仕組みを理解する。 ◆詩を音読したり五十音図を声に出すことができる。		
のばすおん	2	○言葉遊び歌を動作化しながら音読したり書いたりする。 ◆長音の表記と音節の対応を理解し、読んだり書いたりできる。			

	どうやってみまもるのかな	8	○説明的な文章を読み、分かったことをまとめて伝え合う。 ◆事柄の順序を考えながら、分かったことを伝え合うことができる。	
	いしやといしや	2	○言葉遊び歌を動作化しながら読んだり書いたりする。 ◆拗音、拗長音及び拗促音表記の平仮名を読んだり書いたりできる。	
	こんなことしたよ	6	○経験したことを伝える文章を書く。 ◆経験したことを伝える文章を書く。	
7	おおきなかぶ	8	○お話を読み、内容や感想を伝え合ったり演じたりする。 ◆内容の大体を捉え、音読を楽しむことができる。	
	としょかんはどんなところ	2	○読みたい本を探して学校図書館で読む。 ◆読書に親しみ、図書館を活用することができる。	
	ことばあそびうたをつくらう	8	○グループでつないで、自分たちの「ことばあそびうた」を作る。 ◆音や様子を表す言葉を見つけ、言葉遊び歌を作ることができる。	
	かたかなをみつけよう	4	○身の回りにある片仮名で書く語を集めて読んだり書いたりする。 ◆片仮名で書く言葉を見つけ、正しく読んだり書いたりできる。	
	えにききをかこう	8	○日々の出来事について、伝えたいことを絵日記に書く。 ◆必要な事柄を集め、絵日記を書くことができる。	
9	あるけあるけき	3	○動作化を取り入れるなど工夫して詩を音読する。 ◆語のまとまりや言葉の響きを楽しみながら音読することができる。	
	はなしたいなききたいな	5	○みんなの前で話したり、友達の話を聞いて感想を述べたりする。 ◆伝えたい話題を決めて必要な事柄を選び、伝え合うことができる。	
	かぞえうた	6	○「かぞえうた」を音読したり、身の回りの物を数えたりする。 ◆「かぞえうた」を作ろうとしている。	
	かいがら	7	○お話を読み、内容や感想などを伝え合ったり演じたりする。 ◆登場人物になったつもりで演じることができる。	
	かんじのはなし	7	○漢字を使って文を作る。 ◆学習した漢字を使った文を考えることができる。	
10	おはなしをよもう サラダでげんき	10	○お話を読み内容や感想を伝え合う。 ◆誰が出てきてどんなことをしたか確かめながら読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できるようにする。 ・ワークシートを適宜活用し、考えを深めたり、整理したりすることができるようにする。 ・情報機器や学校図書館を積極的に活用する機会を設ける。
	かたかなをかこう	3	○片仮名で書かれた言葉を集め、文を作り、交流する。 ◆片仮名で書く言葉を集めて、読んだり書いたりすることができる。	
	一ねんせいのほんだな	4	○読みたい本を探して読む。 ◆読書に親しみ、多様な本を選んだり読んだりすることができる。	
	なにに見えるかな	8	○質問したり応答したりしながら、グループで話し合う。 ◆話したり聞いたりして、楽しく話をつなぐことができる。	
	よう日と日づけ	3	○曜日と日付を表す言葉を理解し、漢字を使って読み書きする。 ◆曜日と日付を表す言葉を理解し、読み書きすることができる。	
	はっけんしたよ	10	○「はっけんメモ」を書き、様子を伝える文章を書く。 ◆物の様子をよく見て、文章を書くことができる。	
	ひらがなをつかおう	1	○「かぞえうた」を音読したり、身の回りの物を数えたりする。 ◆「かぞえうた」を作ろうとしている。	
	ふねのせつめいをよもう いろいろなふね	8	○説明的な文章を読み、分かったことをまとめて伝え合う。 ◆いろいろな船の、役目と造りを考えることができる。	
「のりものカード」をつくらう	8	○乗り物について調べ、「のりものカード」を作る。 ◆本で調べて、「のりものカード」を作ることができる。		
11	まとめてよぶことば	4	○仲間になる言葉やまとめて呼ぶ言葉を集めたり分類したりする。 ◆語彙を豊かにすることができる。	
	すきなきょうかをはなそう	6	○伝えたいことを話したり、それを聞いて感想を述べたりする。 ◆声の大きさや話す速さに気をつけて話すことができる。	
	ことばであそぼう	2	○回文などの言葉遊びを楽しんで、自分でも作って交流する。 ◆言葉遊びを通して言葉の豊かさに気づくことができる。	
	おもい出してかこう	10	○経験したことを報告する文章を書く。 ◆順序に気をつけて、したことを伝える文章を書くことができる。	
	ひらがなをつかおうをつかおう 2	1	○絵を見て正しい平仮名を書く。 ◆絵に合うように、平仮名を正しく書くことができる。	
	こえに出してよもう おとうとねずみち口	10	○物語を読み、内容や感想を伝え合う。 ◆様子を思い浮かべながら、お話を声に出して読むことができる。	
12	かん字をつかおう 1	1	○漢字を文の中で正しく書く。 ◆文の内容に沿って漢字を正しく書くことができる。	
	すきなおはなしはなにかな	6	○本を読み、自分の好きなお話について、内容や感想を伝え合う。 ◆友達と伝え合うことを通して、読書に親しみることができる。	

1	しをよもう みみずのたいそう	2	○詩を読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする。 ◆語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できるようにする。 ・ワークシートを適宜活用し、考えを深めたり、整理したりすることができるようにする。 ・情報機器や学校図書館を積極的に活用する機会を設ける。
	むかしばなしをたのしもう	8	○読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして内容や感想を伝え合う。 ◆昔話に親しみ、おもしろいところを紹介し合うことができる。	
	おはなしをかこう	12	○昔話に倣って、簡単なお話を作る。 ◆お話に出てくる人物を考えて自分だけのお話を書くことができる。	
	かたかなのかたち	3	○字形が似ている平仮名と片仮名を比べて違いに注意しながら書く。 ◆字形の似た文字との違いに注意し、文の中で使うことができる。	
	かん字をつかおう 2	2	○漢字を文の中で正しく書く。 ◆文の内容に沿って漢字を正しく書くことができる。	
	ちがいをかんがえよう	10	○図鑑や科学的な読み物などを読み、分かったことなどを伝える。 ◆子どもの守り方の違いを、比べて考える。	
2	ことばをあつめよう	3	○教科書の言葉を使って文を作る。 ◆言葉を集め、文の中で使うことができる。	
	小学校のことをしょうかいしよう	8	○話したいことを考え、話す練習をしてみんなの前で話す。 ◆一年間の出来事を順に話し小学校のことを紹介することができる。	
	かん字をつかおう 3	1	○漢字を文の中で正しく書く。 ◆文の内容に沿って漢字を正しく書くことができる。	
	すきなところをつたえよう スイミー	12	○「スイミー」を読んで、好きなところを見つけ、伝え合う。 ◆物語の好きなところを見つけ好きなわけを伝え合うことができる。	
3	かたちのにているかん字	3	○字形の似た漢字を比べて、違いに注意して書く。 ◆漢字の字形を理解し、正しく読み書きすることができる。	
3	一年かんのおもいでブック	10	○心に残っている出来事を報告する文章を書く。 ◆出来事について家の人に伝える文章を書くことができる。	
3	かん字をつかおう 4	2	○漢字を文や文章の中で正しく書く。 ◆文の内容に沿って漢字を正しく書くことができる。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	算数		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1) 数の概念と表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量関係の理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形への感覚を豊かにし、加法及び減法の計算、形を構成、身の回りの量の大きさの比較、簡単な絵や図などに表す技能を身に付ける。 (2) 具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、形に着目し特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りのものの特徴を量に着目して捉え、量の比べ方を考える力、データの個数に着目し事象の特徴を捉える力などを養う。 (3) 数量や図形に親しみ、算数で学んだことによさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	154.2 単位時間				
使用教科書	わくわくさんすう1すたあとぶっく わくわくさんすう1 啓林館				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	算数への導入 わくわく すたあと わくわく がっこう	5	○ものの集まり ○1対1対応 ◆集合、分類および1対1対応の見方・考え方を身につける。		(1) 具体物、図、言葉、数、式などを用いて考えたり説明したりする活動を取り入れる。
4	1 かずと すうじ	8	○5までの数 ○10までの数 ○数字と数図ブロックの対応、数糸列 ◆10までの数の、よみ方、かき方、数の系列、大小を理解し、具体物と数図ブロックを対応させる。		(2) 数量や図形についての感覚を養えるよう、タブレット端末を活用して繰り返し学習したり、形を分類したりする。
5	2 なんばんめ	5	○1次元で表したものの位置と順序数 ○順序数と集合数 ◆数を用いてものの順番や位置を表すことを考える。		(3) 具体物を操作したり日常の事象を観察したり、身近な算数の問題を解決したりする体験を積み重ねる。
5	3 いくつと いくつ	9	○10までの数の合成・分解と10の補数関係 ○0の概念と意味 ◆10の補数関係を理解したり0について知ったりする。		
6	4 いろいろな かたち	5	○空き箱などを使った立体の構成 ○立体図形の分類 ○立体の面の写し取り ◆色や大きさ、材質に関係なく、形としてとらえる。		
6	5 ふえたり へったり	3	○数量の増減の体験 ◆数量の増減に着目し、「ふえた」「へった」という言葉で話したり、数図ブロックを操作したりする。		
6	6 たしざん(1)	9	○合併の場面の理解 ○たし算の式 ○増加の場面の理解 ○計算練習 ○文章題 ○計算カード ◆1位数+1位数=10以下の数の計算ができる。		
7	7 ひきざん(1)	10	○求残の場面理解 ○ひき算の式と計算練習 ○計算カード ○文章題 ○ひき算になるおはなしをつくる活動 ◆10以下の数-1位数の計算ができる。		
7	8 かずしらべ	4	○絵グラフによるものの個数の整理と数の多少の考察 ◆ものの個数について、簡単な絵や図に表したり、それらを読み取ったりする。		
9	9 10より おおきい か ず	9	○20までの数の数え方、読み方、表記、かき方、数図ブロックとの対応、大小比較、数え方の工夫、構成、直線数、十何±1位数 ◆10といくつという崇高性の考え方に基づいて数を表す。		
9	10 なんじ なんじはん	4	○何時・何時半の時刻をよむ・表す ◆何時・何時半の自国のよみ方を理解し、時刻をよんだり文字盤で表したりする。		
9	11 おおきさくらべ(1)	5	○長さとかさの直接比較・間接比較・任意単位による測定 ◆直接比較や間接比較を用いて長さやかさを調べ、その概念を理解し、足底の基礎となる考え方を身につける。		
10	12 3つの かずの けい さん	6	○3口のたし算とひき算 ○加減混合の3口の計算 ○4口の計算 ◆増えたり減った医する場面を1つの式に表して計算することができる。		
10	13 たし算(2)	9	○繰り上がりのあるたし算 ○被加数が6以上のたし算 ○被加数が5以下のたし算 ○たし算カード ◆10の補数に着目して、繰り上がりのたし算の仕方を考える。		

11	14 かたちづくり	6	○色板や色棒を使った形づくり ○点つなぎによる形づくり ○形を変形させる活動 ◆図形を構成する力と観察する力を身につける。	<p>(1) 具体物、図、言葉、数、式などを用いて考えたり説明したりする活動を取り入れる。</p> <p>(2) 数量や図形についての感覚を養えるよう、タブレット端末を活用して繰り返し学習したり、形を分類したりする。</p> <p>(3) 具体物を操作したり日常の事象を観察したり、身近な算数の問題を解決したりする体験を積み重ねる。</p>
11	15 ひきざん(2)	11	○繰り下がりのあるひき算 ○減数が5以下のひき算 ○ひき算カード ○等式の穴埋め ○たし算、ひき算になる問題をつくる活動 ◆10といくつにわけて、繰り下がりのあるひき算を考える。	
12	16 0の たしざんと ひきざん	4	○0のたし算 ○0のひき算 ◆0を含む計算が確実にできる。	
12	17 ものと ひとの かず	5	○ものと人の数を対応させた加減の問題 ○順序数と集合数の問題 ◆数量の対応や順序数を絵や図に表したり、式にかいて解決したりする。	
1	18 大きい かず	13	○20をこえる数の数え方 ○100までの数と100を少し超える数の数え方、系列、大小比較 ◆100と何十何という見方を働かせて、100を超える数を扱う。	
2	19 なんじなんぶん	3	○何時何分の時刻をよむこと・表すこと ◆時計を使って、何時何分かをよんだり表したりできる。	
2	20 おなじ かずずつ	3	○かけ算、わり算の素地 ◆等分したりまとめて数えたりして、乗法や除法の素地的な見方で数を考える。	
2	21 100までの かずの けいさん	4	○何十±何十の計算 ○何十何十何で繰り上がりや繰り下がりがない計算 ◆数構成に基づいて、たし算・ひき算の仕方を考える。	
3	22 おおい ほう すくな い ほう	4	○求大および求小の問題 ◆絵やブロックを用いて多少の関係を表し、式にできる。	
3	23 大きさをくらべ(2)	3	○広さの直接比較と任意単位による測定 ◆広さの概念を理解し、直接比べたり任意単位を用いて比べたりする。	
3	* もう すぐ 2年生	7.2	○復習 ◆1年生の学習内容が持続している。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名				学習グループ名	小⑧
目標・ねらい	(1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。 (2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。 (3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	102 単位時間				
使用教科書	どきどきわくわく 新編 あたらしい せいかつ 上巻 (東京書籍)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	どきどき わくわく 1ねん せい	8	○学校生活の過ごし方や教室の使い方を考える。学校の中をめぐり、見つけたものを話す。 ◆学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の使い方に気付き、安心して遊びや学習をしようとする事ができる。		・繰り返し自然事象と関わったり試行錯誤して何度も挑戦できる場を設けたり、伝え合う場を設けたりして、気付きの質を高める。 ・単元の内容に応じて、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの活動ができるように教材や学習環境を整える。
5	がっこう だいすき	10	○聞くときに気を付けることを確認してから聞き、分かったことや気付いたことを伝える。 ○学校探検で見つけた人・物・ことの中から一番伝えたいことを決め、伝えたいことを絵や文で表したり実物や動画を用意したりして発表する。 ◆学校の施設ごとの特徴に応じて、ルールやマナーを守って探検する。		
6	なつが やってきた	8	○動植物や風、光などを探したり、それらの様子を観察したりする。 ○これまでの水遊びの経験を教え合い、水を使った夏の遊びについて話し合う。 ◆夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使うものをつくったりして、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、公共物や公共施設を安全に正しく利用しようとしたり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしたりすることができるようにする。		
7					
9	いきものと なかよし	6	○単元扉の写真を基に、校庭のどこに虫がいると思うか、これまでの経験を想起しながら話す。 ○動画視聴を行い、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察するポイントを知る。 ◆身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけることができ、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付く。		
10	たのしい あき いっぱい	19	○夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。 ○秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合い、秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくったりする。 ◆秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができ、自然の様子や季節の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとする事ができるようにする。		
11					
12	じぶんで できるよ	12	○家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。 ○家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立て、自分ができることに取り組む。 ○家庭で取り組んだことを振り返り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、伝え合う。 ◆家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとする事ができるようにする。		

1	ふゆを たのしもう	10	<p>○動画視聴し、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷など冬特有の自然を探したり、友達と遊んだりして、気付いたことを話したり、記録カードにかいたりする。</p> <p>○風などを利用して、友達と一緒に簡単な遊びを考える。</p> <p>○昔から伝わる遊びを知り、楽しむ。</p> <p>◆冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。</p>	<p>・繰り返し自然事象と関わったり試行錯誤して何度も挑戦できる場を設けたり、伝え合う場を設けたりして、気付きの質を高める。</p> <p>・単元の内容に応じて、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの活動ができるように教材や学習環境を整える。</p>
2	もうすぐ 2 年生	15	<p>○これまでかきためてきた記録カードや作品を整理してまとめ、1年間の成長を振り返る。</p> <p>○自分の成長をそれぞれの方法でまとめ、紹介し合ったりする中で、思ったことや考えたことを話し合う。</p> <p>◆入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするができるようにする。</p>	
3				
通年	はなを さかせよう	7	<p>○教科書を見て植物の花を確認したり、実際にたねを観察したりしながら育てたい植物を決め、たねをまくために必要なことについて話し合う。</p> <p>○植物の世話について気付いたことやよりよい成長のために必要なことについて話し合う。</p> <p>◆植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもつ。</p>	
通年	ぐんぐんそだて みんなの野菜	7	<p>○収穫した野菜を使った料理について調べ、友だちと協力して計画を立てる。</p> <p>◆野菜を育てることで植物への思いをもって世話をすることができるようにする。</p>	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	小⑧	
目標・ねらい	(1) 音楽によって喚起されたイメージや感情、想像したことなどを伝え合ったり共感しあったりするなど、言語活動を取り入れる。 (2) 音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽と関わるができるよう、身体を動かす活動を取り入れる。 (3) 身近なものから多様な音を探したりリズムや旋律を模倣したりすることを通して、音遊びや即興的な表現活動を取り入れる。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	68 単位時間				
使用教科書	小学生のおんがく1 (教育芸術社)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	1 うたで なかよしに なろう	6	○速度、強弱、拍の流れ、問いと答え ◆一緒に歌ったり身体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関心をもつ。		(1) 音楽によって喚起されたイメージや感情、想像したことなどを伝え合ったり共感しあったりするなど、言語活動を取り入れる。 (2) 音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽と関わるができるよう、身体を動かす活動を取り入れる。 (3) 身近なものから多様な音を探したりリズムや旋律を模倣したりすることを通して、音遊びや即興的な表現活動を取り入れる。
	2 はくを かんじて あそぼう	5	○リズム、拍の流れ、フレーズ、問いと答え ◆音楽に合わせて身体を動かしながら歌ったり聞いたりして、拍の流れを感じ取る。		
	3 はくを かんじて りずむを うとう	12	○音色、リズム、強弱、拍の流れ、フレーズ、反復、問いと答え ◆歌ったり身体を動かしたりしながら、拍の流れを感じ取る。 ◆リズムの違いに気付き、拍の流れを感じ取って簡単なリズムを演奏したり、リズムに合う言葉を選び組み合わせて表現したりする。		
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	4 どれみで うたったりふいたりしよう	10	○音色、旋律、拍の流れ、問いと答え ◆階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びをしたりして、階名に親しむ。 ◆鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身につけたり、きれいな音に気付いて聴いたりする。		
	5 ようすを おもいうかべよう	6	○音色、速度、旋律、強弱、拍の流れ、反復 ◆楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。 ◆歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲のよさや面白さに気付いて聴く。		
	6 いろいろな おとを たのしもう	9	○音色、リズム、強弱、反復、問いと答え ◆身近な楽器の音色の特徴を感じ取り、演奏の仕方や楽器の音色に興味・関心をもって演奏したり音楽をつくったりする。 ◆楽器の特徴的な音色を感じ取り、楽曲のよさや面白さに気付いて聴く。		
1 ・ 2 ・ 3	7 にほんの うたを たのしもう	2	○速度、旋律、拍の流れ ◆友達と一緒に歌ったり音楽に合わせて身体を動かしたりして、日本に伝わるわらべうたの楽しさを感じ取る。		
	8 おとを あわせて たのしもう	12	○音色、リズム、旋律、強弱、拍の流れ、フレーズ、反復、問いと答え ◆互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ◆楽器の響き合いに気付き、拍の流れやフレーズを感じ取りながら楽しんで聴く。		
通年	うたいつごう にほんの うた みんなで たのしく	6	○音色、速度、リズム、旋律、強弱、拍の流れ、フレーズ、反復、問いと答え ◆歌声や楽器の音色に気を付けながら、曲想に合った表現を工夫し、声や音を合わせて表現する。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	図画工作		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (2) 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	68 単位時間				
使用教科書	ずがこうさく1・2上わくわくするね 下みつけたよ(開隆堂)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	すきなもののいっぱい	6	○食べ物や乗り物、動物など好きなものをたくさん描く。 ◆自分の好きなもの・思い浮かべたものを、いろいろな形や色を使い、表し方を工夫して表すことを楽しむことができる。		(1) 自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができるようにし、自分の思いで活動を進めることができるようにする。 (2) 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
5	ねんどとなかよし	6	○粘土を触ってたのしく活動する。 ◆粘土を丸めたりつかんだりのぼしたりしながら表したいことを見付け、表し方を工夫し、仲間と協力して立体に表せる。		
6	チョッキンパで かざろう	8	○折った色紙を切って開くとできる形をつなげて飾る。 ◆折り方や切り方によってできる形や色の組み合わせに気づくことができる。		
7	さわって まげて きもちいい	8	○手や指を使って絵具で描く楽しさや気持ちよさを味わう。 ◆手や指を使った描き方を工夫できる。		
9	ひかりのくにの なかまたち	8	○色セロハンと透明な袋で、光を通すときれいな飾りを作る。 ◆色セロハンと透明な袋を用いて、光を通すときれいな飾りを作ることができる。		
10	はことはこを くみあわせて	8	○空き箱を組み合わせて好きなものを立体に表す。 ◆たくさんの箱に触れて思いついたことを試して、いろいろな形や色などを捉えられる。活動を工夫して作ることを楽しめる。		
11	こすりだしから うまれたよ	8	○こすり出した模様の形や色から工夫して表現する。 ◆身の回りにあるでこぼこを見付け、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら粘土で写し、写し取った形の面白さを味わい、見方や感じ方を広げることができる。		
12					
1・2・3	すいすい ぐるーり	8	○筆の軌跡や線の動きから、感じたことや思いついたことを自由に表す。 ◆筆の軌跡や線の動きから、感じたことや思いついたことを自由に表すことができる。		
	くしゃくしゃ だいへんしん	8	○くしゃくしゃにした紙から作りたいものを立体に表す。 ◆くしゅくしゅにした紙から作りたいものを立体に表すことができる。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門)年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名				学習グループ名	小⑧
目標・ねらい	(1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	34 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	運動会に向けて	6	○走の運動 ○ボールの投球 ◆車いす操作や投球の基本的な動きを知り、運動遊びに取り組む中で、動きを工夫しようとする。		(1) 個々の児童の運動経験や技能の程度に合わせた個別の課題を用意する。 (2) 運動の工夫を発表したり、話し合ったりする言語活動の場を用意する。 (3) タブレット端末を活用して運動を記録し、自分の運動を振り返られるようにする。
5					
6	ポッチャ遊び	3	○ポッチャを基にしたボールゲーム ◆ゲームのルールを理解し、楽しみながら運動するとともに、運動を工夫しようとする。		
7	水泳	6	○水泳 ◆教職員の支援を受けたり浮き具を利用しながら、水遊びを楽しんだり、潜ったり浮いたりする。		
9					
10	器械・器具を使った運動遊び	9	○サーキット遊び ◆遊具を使った運動を楽しみながら、安全に注意し、様々な動きに挑戦する。		
11					
12					
1	集団ゲーム	10	○鬼遊び ◆ルールを守り、安全に気を付けながら、追いかける、逃げるといった運動をする。		
2					
3					
通年	準備運動 5分間走	34	○準備運動 ○5分間走 ◆身体の部位を意識しながらストレッチなどの運動をする。 ◆安全に気を付けながら車いす操作をする。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	特別な教科 道徳		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	基本的な生活習慣を身に付け、他者を思いやって、社会生活のまわりを守るようにする。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	34 単位時間				
使用教科書	しょうがく どうとく ゆたかな こころ 1ねん(光文)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	みんなで たのしく あいさつで げんきに	2	○友情、信頼 ◆友達と仲良くし、助け合おうとする。 ○礼儀 ◆時と場に応じたあいさつが分かり、相手に合わせたあいさつをしようとする。		(1)他の教職員などの協力を得ながら指導を行う。 (2)具体的な作業の場を設定する。 (3)児童の実態に応じた問題意識を踏まえ、学び合いができるようにする。
5	みんなで まもろう あおしんごう	3	○規則の尊重 ◆いろいろな決まりがあることを知り、決まりがある理由を理解して守ろうとする。 ○節度 ◆自身の心をコントロールし、安全に気を付けて生活しようとする。		
6	みんな みんな いきている おたんじょうび れっしゃ	4	○生命の尊さ ◆成長していることの喜びを実感し、命を大切にしようとする。◆多くの人に支えられながら生きてきたことが分かる。		
7	きんの おの ルールが ないと どうなる の?	3	○正直 ◆うそをついたりごまかしたりすると、自分の心も相手の心も暗くなることが分かり、明るい心で行動しようとする。 ○規則の尊重 ◆約束や決まりを守り、安全に情報機器を使おうとする。		
9	ちゃんとの たつじん ぼく もちます	3	○節度 ◆健康や安全に気を付け、時間を守って身の回りを整えることが気持ちよい毎日につながる事が分かり、規則正しい生活をしようとする。 ○親切 ◆相手のことを考えて行動する良さが分かり、相手の気持ちや立場を考えてできることをしようとする。		
10	そうじの じかんだ ぶうたの やくめ	4	○公共の精神 ◆働くことで周りの人が喜んだり自分もうれしい気持ちになったりすることが分かり、自分から進んで仕事をしようとする。 ○社会正義 ◆自分の好き嫌いとらわれないで人と接しようとする。		
11	すてきな ことば もみじがり	4	○集団生活の充実 ◆自分たちの学校や学校の人々に親しみ、学級を楽しくしようとする。 ○伝統と文化の尊重 ◆紅葉狩りを通して、古くから伝わる文化に親しむ。		
12	ウォルト・ディズニー だいじな わすれもの	3	○自然愛護 ◆身近な自然に親しみ、動植物にやさしい心で接しようとする。 ○礼儀 ◆マナーを守って互いに気持ち良く生活しようとする。		
1	エマさんの こたえあわせ ひつじかいと おおかみ	3	○国際理解 ◆他国の人々や文化に親しみをもつ。 ○善悪の判断 ◆嘘について人をだますことがなぜ良くないかが分かり、善悪を区別しようとする。		
2	ぼくにも あるかな ぎんの しずく	3	○個性の伸長 ◆自分の特徴に気付き、自分や友達の良さを知らうとする。 ○家族愛 ◆家族の愛情の深さを知り、家族に対する敬愛の念がわき、家族の役に立ちたいと思って生活しようとする。		
3	ひしゃくぼし もうすぐ ニねんせい	2	○畏敬の念 ◆美しいものに触れて感動し、清々しい心を大切にしようとする。 ○個性の伸長 ◆自分の特徴に気付き、良さを大切にしようとする。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力をつける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動を進んで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	68 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	身体の取組 コミュニケーション	68	○ストレッチ ○姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ○姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ○歩行練習 ○手指の操作性を高める取組 ○視機能を高める取組 ○コミュニケーションゲーム ◆身体を取組や健康に関することなどに取り組み、日常生活に生かす ◆正しいコミュニケーションを学び、実践する力をつける。		・身体を取組を行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第1学年	教育課程名	
教科等名	特別活動		学習グループ名	1学年	
目標・ねらい	(1) ふだんと違う場所や集団の雰囲気の中でも、活動に気持ちを向けて参加する。 (2) 活動の中で感じた気持ちを自分なりの方法で表す。 (3)				
担当教職員 *学校介護職員	足立美香 山田奈津子 三浦佳苗 杉本珠実 山口牧子 樋口ひとみ 田岡朋美 *倉繁博子 *蓮井佳織 *星野知子 *三村悦子 *中村裕美子 *平野寧々				
年間授業時数	34 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	なかよくなるう	2	○友達、先生とあいさつをする。 ◆新しい環境に慣れる。一年間の見通しをもつ。		<ul style="list-style-type: none"> ・安心して活動に参加できるように、わかりやすい言葉掛けを行う。 ・障害に応じた対応を行い、安定した状態で参加できるようにする。 ・行事の事前学習では、写真や絵を使い、期待感や見通しをもてるようにする。
5	運動会の準備をしよう	2	○「うっきーふる一つをどうぞ」の練習をする。 ◆繰り返し練習をすることで見通しをもち運動会に参加する。		
6	学校を知ろう	3	○校内探検をする。エレベーターを使い、校内の施設(プール、図書コーナー、音楽室など)を見る。 ◆学校の設備を隅々まで見て知る。		
7	学校を知ろう	2			
9	社会見学の準備をしよう	4	○行先の確認を行い、「行船公園」について知る。バスののり方やお出かけのルールを確認をする。 ◆繰り返して行先を確認し、バスののり方や一日の過ごし方を確認することで、見通しをもち社会科見学に参加する。		
10	社会見学の準備をしよう	4			
11	墨東祭の準備をしよう	4	○作品作りや発表に向けての練習を繰り返し行う。 ◆墨東祭に向けての準備を丁寧に行うことで見通しをもち参加する。		
12	墨東祭の準備をしよう	3			
1	正月遊びをしよう	3	○正月に関する歌や集団遊びを行う。 ◆活動を通して正月について知る。		
2	冬の遊びをしよう	4	○冬の歌、手遊び、集団遊びなどを行う。 ◆季節の歌や遊びを通して冬について冬を感じる。		
3	一年間の振り返りをしよう	3	○行事や学習の振り返りを行い、写真などで思い出を振り返る。 ◆一年間の振り返りを通して成長を感じ、次年度に向けて期待感をもつ。		